

平成23年度 河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 研究開発テーマ

テーマおよび概要		提案者名
テーマ	異常土砂流出時に立入が困難な区域における迅速な緊急調査・危険度評価に関する調査研究	北海道大学大学院 笠井 美青
概要	UAV搭載型のSAR等を使用して、異常土砂流出時における初期現地状況把握と危険度評価を迅速に行う実用ルーチンを作成する。	
テーマ	基岩水文プロセスを反映させた物理水文モデルを用いた六甲山系における表層崩壊発生の高精度予測	京都大学大学院 小杉 賢一朗
概要	基岩水文プロセスの観測とモデル化により、六甲山系における表層崩壊の特殊性を明らかにし、その予測精度を向上させる。	
テーマ	斜面動態モニタリングに基づく土砂災害発生予測技術の高度化	高知大学 笹原 克夫
概要	実際の自然斜面において、自然降雨や人工降雨の下での降雨浸透の計測を実施し、その計測データを用いて降雨浸透モデル定数の最適化をリアルタイムで行い、降雨浸透の予測モデルを構築する。	
テーマ	高原川流域における豪雨による土砂災害軽減に関する研究	京都大学防災研究所 堤 大三
概要	フラッシュフラッドや土砂生産流出現象のモニタリングを行い、レーダ雨量計による雨量情報を元に、土砂災害軽減のための予測手法の確立を目指す。	
テーマ	活火山地域における無人調査を目的とした小型不整地移動ロボット技術の研究開発	東北大学大学院 永谷 圭司
概要	火山地域にて不整地移動ロボットのフィールド試験を実施し、実用に耐える火山調査ロボットの技術開発を行う。	
テーマ	流砂モニタリングに基づく流出土砂の管理に関する研究	京都大学大学院 水山 高久
概要	流量・流砂量をモニタリングして、シャッター砂防堰堤により能動的に流出土砂を管理する技術開発を行う。	
テーマ	地域社会が水系砂防効果をより良く理解するための水系土砂動態履歴の解明と支川域からの土砂流出規模・頻度評価、双方向コミュニケーション型科学的説明手法の提案	三重大学大学院 山田 孝
概要	庄内川水系での土砂動態解明と流出規模、頻度評価を行い、地域社会に水系砂防効果を理解させ得る行政・専門家と住民双方会話型科学的説明手法を提案する。	

(五十音順、敬称略)